



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 HOUSEI株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5035 URL https://www.housei-inc.com  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 管祥紅  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 羽入友則 (TEL) 03(4346)6600  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (8月31日 開示予定)  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (8月31日 開催予定)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,198	11.8	74	58.9	94	15.8	62	△11.0
2022年12月期第2四半期	1,966	—	46	—	81	—	70	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 108百万円(△42.5%) 2022年12月期第2四半期 188百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	8.94	—
2022年12月期第2四半期	11.98	—

- (注) 1. 2022年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2022年12月期第2四半期において非上場であり、期中平均株価は把握できないため、記載しておりません。  
 2. 2023年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため、記載しておりません。  
 3. 当社は2021年12月期第2四半期については連結財務諸表を作成していないため、2022年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	4,766	3,119	64.9
2022年12月期	4,227	2,954	69.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 3,094百万円 2022年12月期 2,954百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,793	12.7	281	52.4	312	57.3	242	79.9	34.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

新株式の発行による発行済株式数の増加に伴い、1株当たり当期純利益を修正しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社(社名) アイード株式会社、除外 0社(社名)  
SEVEN&EIGHT SYSTEM株式会社

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	7,094,200株	2022年12月期	7,026,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	一株	2022年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	7,037,681株	2022年12月期2Q	5,904,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報を基に作成しており、実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(企業結合等関係)	12
(収益認識関係)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ポストコロナにより経済活動が正常化し、個人消費の回復、海外渡航制限の緩和などが進んだ結果、2023年6月調査の日銀短観でも、大企業製造業で7四半期ぶりに景況感が改善し、大企業非製造業では5四半期連続で景況感が改善するなど、回復傾向が鮮明になっております。

当社グループが属する情報サービス業においても、企業の競争力向上のためにはDX（デジタル・トランスフォーメーション）化を含むIT投資は不可欠であり、企業のIT投資意欲は引き続き堅調に推移しているものとみております。

このような経営環境のもと、当社グループは顔認証付きガレージゴルフの発売開始、機器の寿命予測に関する特許取得など、将来に向けた投資を積極的に行ってまいりました。また、エンターテインメント業界におけるITサービス、IP斡旋などを事業内容とするSEVEN&EIGHT SYSTEM株式会社を子会社として2023年4月5日付けで新規設立し、さらに英語スピーキング評価AI「CHIVOX(R)」を活用したビジネスデベロップメントを事業内容とするアイード株式会社の全株式を2023年4月28日付けで取得し、子会社化いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の連結売上高は、2,198,322千円と前年同四半期と比べ231,944千円（11.8%増）の増収となりました。増収に伴い売上原価は前年同四半期と比べ149,229千円（10.2%増）増加し、売上総利益については、前年同四半期より82,714千円（16.5%増）の増加となりました。販売費及び一般管理費は前年同四半期と比べ55,173千円（12.1%増）増加しましたが、連結営業利益は74,337千円と、前年同四半期と比べ27,541千円（58.9%増）の増益となりました。経常利益については為替差益が減少しましたが、営業利益の増加により、94,559千円と前年同四半期と比べ12,877千円（15.8%増）の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年と比較すると、税率の低い中国子会社で計上する税金等調整前四半期純利益の割合が減少し、税率の高い当社で計上する税金等調整前四半期純利益の割合が増加したことなどにより、62,915千円と前年同四半期と比べ7,791千円（11.0%減）の減益となりました。

セグメント別内訳は次の通りです。

#### ① 情報システム事業

情報システム事業は当社、方株（武漢）科技有限公司、SEVEN&EIGHT SYSTEM株式会社及びアイード株式会社で展開しております。売上高は前年同四半期と比べ204,911千円増の2,114,813千円（10.7%増）、営業利益は前年同四半期と比べ24,087千円増の94,875千円（34.0%増）となりました。

売上高の内訳は、メディア事業1,162,943千円（前年同四半期比20.1%増）、プロフェッショナルサービス事業888,832千円（前年同四半期比2.0%減）、プロダクト推進事業40,057千円（前年同四半期比35.8%増）、その他22,980千円（前年同四半期比309.2%増）であります。なお、前年同四半期は進捗度に応じて収益を認識する未完成プロジェクト売上高の増減をその他に含めて計上しておりましたが、当期より案件ごとにメディア事業とプロフェッショナルサービス事業に配分して計上する方法に変更いたしました。上記の前年同四半期比は、前年同四半期の実績を当期と同様の計上方法に変更したものと比較しております。

#### ② 越境EC事業

越境EC事業は24ABC株式会社で展開しております。売上高は前年同四半期と比べ27,033千円増の83,508千円（47.9%増）となりましたが、売上原価、販売費及び一般管理費の増加により、営業損失は20,538千円（前年同四半期は23,993千円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、4,766,897千円と前連結会計年度末から539,495千円増加しました。

流動資産は、主に契約資産が479,537千円、その他が82,210千円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が383,169千円減少したことなどにより172,101千円増加して3,032,460千円となりました。なお、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度においては独立掲記していた前渡金、前払費用、短期貸付金をその他に組み替えております。

固定資産は、主にのれんが307,799千円、有形固定資産が29,128千円、ソフトウェアが24,629千円それぞれ増加したことなどにより367,846千円増加して1,734,437千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は374,454千円増加して1,647,706千円となりました。

流動負債は、主に支払手形及び買掛金が203,503千円、その他が116,840千円、それぞれ増加したことなどにより362,150千円増加して1,087,818千円となりました。なお、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度においては独立掲記していたリース債務、未払金、未払費用、前受収益をその他に組み替えております。

固定負債は、主に長期借入金が13,743千円増加したことなどにより12,304千円増加して559,887千円となりました。なお、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度においては独立掲記していたリース債務をその他に組み替えております。

(純資産)

純資産の部では、資本金が24,176千円、資本剰余金が24,176千円、利益剰余金が41,837千円、為替換算調整勘定が46,126千円、それぞれ増加したことなどにより、当第2四半期連結会計期間末における純資産の部は165,040千円増加して3,119,191千円となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フロー支出が75,787千円、投資活動によるキャッシュ・フロー支出が399,758千円、財務活動によるキャッシュ・フロー収入が63,497千円となり、現金及び現金同等物に係る換算差額20,248千円を調整して、当第2四半期連結会計期間末は992,763千円(前連結会計年度末比391,799千円減少)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は75,787千円でありました。収入の主な要因は税金等調整前四半期純利益94,143千円、仕入債務の増加額202,838千円、その他の負債の増加額99,709千円、のれん償却額43,480千円、減価償却費33,124千円などであり、支出の主な要因は、契約資産の増加額479,537千円、その他の資産の増加額57,544千円などです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は399,758千円であり、その主な要因は連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出268,582千円、事業譲受による支出69,757千円などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は63,497千円であり、その主な要因は長期借入れによる収入100,000千円、株式の発行による収入48,353千円、長期借入金の返済による支出62,667千円、社債の償還による支出30,000千円などです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月13日に2022年12月期決算短信にて公表しました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,575,552	1,192,383
受取手形及び売掛金	796,292	797,454
契約資産	304,437	783,975
商品及び製品	12,910	17,180
仕掛品	50,465	38,888
原材料及び貯蔵品	483	187
その他	120,559	202,769
貸倒引当金	△342	△377
流動資産合計	2,860,358	3,032,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	815,031	857,858
工具、器具及び備品	212,634	230,762
減価償却累計額	△204,590	△236,417
有形固定資産合計	823,076	852,204
無形固定資産		
のれん	405,036	712,836
ソフトウェア	14,975	39,605
無形固定資産合計	420,012	752,441
投資その他の資産		
投資有価証券	8,673	14,612
長期貸付金	853	266
繰延税金資産	48,854	46,319
破産更生債権等	81,000	81,000
長期前払費用	41,001	29,295
敷金及び保証金	19,079	34,256
その他	5,040	5,040
貸倒引当金	△81,000	△81,000
投資その他の資産合計	123,501	129,790
固定資産合計	1,366,590	1,734,437
繰延資産		
社債発行費	452	—
繰延資産合計	452	—
資産合計	4,227,402	4,766,897

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	176,312	379,815
1年内償還予定の社債	30,000	—
1年内返済予定の長期借入金	100,200	133,800
未払法人税等	34,090	46,118
賞与引当金	86,264	107,707
受注損失引当金	6,202	10,938
その他	292,598	409,439
流動負債合計	725,668	1,087,818
固定負債		
長期借入金	375,031	388,774
退職給付に係る負債	153,796	155,156
その他	18,755	15,957
固定負債合計	547,583	559,887
負債合計	1,273,251	1,647,706
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	631,965	656,142
資本剰余金	1,103,443	1,127,620
利益剰余金	1,089,081	1,130,918
株主資本合計	2,824,490	2,914,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	471	4,592
為替換算調整勘定	129,188	175,314
その他の包括利益累計額合計	129,660	179,906
非支配株主持分	—	24,602
純資産合計	2,954,150	3,119,191
負債純資産合計	4,227,402	4,766,897

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,966,377	2,198,322
売上原価	1,464,039	1,613,269
売上総利益	502,337	585,052
販売費及び一般管理費	455,541	510,715
営業利益	46,795	74,337
営業外収益		
受取利息	2,308	3,828
為替差益	33,058	18,179
補助金収入	3,128	1,189
その他	826	328
営業外収益合計	39,321	23,526
営業外費用		
支払利息	3,372	2,851
社債発行費償却	1,061	452
営業外費用合計	4,434	3,304
経常利益	81,682	94,559
特別利益		
事業構造改善引当金戻入額	19,041	—
特別利益合計	19,041	—
特別損失		
役員退職功労金	19,200	—
固定資産除却損	148	416
特別損失合計	19,348	416
税金等調整前四半期純利益	81,374	94,143
法人税、住民税及び事業税	16,527	35,309
法人税等調整額	△5,858	716
法人税等合計	10,668	36,025
四半期純利益	70,706	58,118
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△4,797
親会社株主に帰属する四半期純利益	70,706	62,915

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	70,706	58,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	4,120
為替換算調整勘定	117,899	46,126
その他の包括利益合計	117,899	50,246
四半期包括利益	188,606	108,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	188,606	113,162
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△4,797

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	81,374	94,143
減価償却費	35,914	33,124
のれん償却額	40,146	43,480
有形固定資産除却損	148	416
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	19
差入保証金償却額	1,611	2,141
社債発行費償却	1,061	452
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,064	19,554
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	4,735
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,387	1,359
損害補償損失引当金の増減額(△は減少)	△15,501	—
事業構造改善引当金戻入額	△19,041	—
為替差損益(△は益)	△35,215	△17,442
補助金収入	△3,128	△1,189
受取利息及び受取配当金	△2,308	△3,828
支払利息	3,372	2,851
売上債権の増減額(△は増加)	614,655	16,832
契約資産の増減額(△は増加)	△91,803	△479,537
棚卸資産の増減額(△は増加)	△86,757	7,845
その他の資産の増減額(△は増加)	△28,003	△57,544
仕入債務の増減額(△は減少)	1,816	202,838
未払消費税等の増減額(△は減少)	△87,526	△28,622
その他の負債の増減額(△は減少)	66,651	99,709
小計	490,919	△58,660
利息及び配当金の受取額	1,489	3,850
利息の支払額	△3,393	△3,011
補助金の受取額	3,128	1,189
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	4,247	△19,154
営業活動によるキャッシュ・フロー	496,391	△75,787
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△187,590	△193,770
定期預金の払戻による収入	—	193,770
有形固定資産の取得による支出	△33,445	△19,033
無形固定資産の取得による支出	△18,196	△27,272
事業譲受による支出	—	△69,757
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△268,582
貸付金の回収による収入	569	578
敷金及び保証金の差入による支出	—	△15,690
敷金及び保証金の回収による収入	1,313	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237,348	△399,758

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△100,000	—
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△54,267	△62,667
リース債務の返済による支出	△874	△583
社債の償還による支出	△40,000	△30,000
株式の発行による収入	—	48,353
配当金の支払額	—	△21,004
連結子会社設立に伴う非支配株主からの払込による収入	—	29,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195,141	63,497
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,964	20,248
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	74,865	△391,799
現金及び現金同等物の期首残高	1,091,418	1,384,562
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,166,283	992,763

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月31日付で、第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ24,176千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が656,142千円、資本剰余金が1,127,620千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表関係)

(1)前連結会計年度において、独立掲記しておりました「流動資産」の「前渡金」、「前払費用」、「短期貸付金」は、重要性が乏しいため、第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「前渡金」1,151千円、「前払費用」54,826千円、「短期貸付金」1,160千円、「その他」63,421千円は、「その他」120,559千円として組み替えております。

(2)前連結会計年度において、独立掲記しておりました「流動負債」の「リース債務」、「未払金」、「未払費用」、「前受収益」は、重要性が乏しいため、第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「リース債務」1,177千円、「未払金」28,888千円、「未払費用」81,233千円、「前受収益」123,679千円、「その他」57,619千円は、「その他」292,598千円として組み替えております。

(3)前連結会計年度において、独立掲記しておりました「固定負債」の「リース債務」は、重要性が乏しいため、第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「固定負債」に表示していた「リース債務」4,889千円、「その他」13,866千円は、「その他」18,755千円として組み替えております。

(四半期連結損益計算書関係)

第1四半期連結会計期間の期首より、費目別に区分掲記しておりました「販売費及び一般管理費」について、連結損益計算書の一覧性及び明瞭性を高めるため、「販売費及び一般管理費」として一括掲記する方法に変更しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結損益計算書の組替を行っております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	連結財務諸表計上額 (注)
	情報システム	越境EC	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,909,901	56,475	1,966,377	1,966,377	—	1,966,377
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,909,901	56,475	1,966,377	1,966,377	—	1,966,377
セグメント利益又は損失(△)	70,788	△23,993	46,795	46,795	—	46,795

(注) セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項は、ありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	連結財務諸表計上額 (注)
	情報システム	越境EC	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,114,813	83,508	2,198,322	2,198,322	—	2,198,322
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,114,813	83,508	2,198,322	2,198,322	—	2,198,322
セグメント利益又は損失(△)	94,875	△20,538	74,337	74,337	—	74,337

(注) セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「情報システム」セグメントにおいて、2023年4月28日付でアイード株式会社の全株式を取得いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において266,359千円であります。

なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において、取得価額の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は2023年4月26日開催の取締役会において、アイード株式会社の全株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2023年4月28日付で全株式を取得しました。

## 1. 企業結合の概要

### (1) 被取得企業の名称及び事業内容

名 称 アイード株式会社

事業内容 英語スピーキング評価AI「CHIVOX(R)」を活用したビジネスデベロップメント

### (2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、教育機関向けのICT分野の拡大を新たな事業目標として推進しております。アイード社は、教育機関向けに英語スピーキング学習サービスの開発及び提供を行っております。双方が有する事業上のネットワークやシステム開発力といった経営資源を相互に活用することで、教育ICT事業分野での新たな展開・拡大が期待できます。また、子会社化することにより、教育ICT事業分野以外の分野でも、相互協力のもと発展していくことを目指してまいります。

### (3) 企業結合日

2023年4月28日

### (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

### (5) 結合後企業の名称

変更ありません。

### (6) 取得した議決権比率

100%

### (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したためであります。

## 2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2023年6月30日をみなし取得日としているため、当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

## 3. 被取得企業の取得原価および対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金 300,000千円

取得原価 300,000千円

## 4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

デューデリジェンス費用等 6,208千円

## 5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

### (1) 発生したのれん金額

266,359千円

なお、のれん金額は、当第2四半期連結会計期間末において、取得価額の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

### (2) 発生原因

今後の事業展開により期待される将来の超過収益力であります。

### (3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、売上高をセグメント情報の報告セグメントの区分に基づき分解するとともに、情報システムセグメントについては、さらに契約類型により分解しております。

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	情報システム	越境EC	計
請負	455,928	—	455,928
プロダクト	289,874	—	289,874
準委任及び保守	1,087,240	—	1,087,240
その他	76,858	56,475	133,334
顧客との契約から生じる収益	1,909,901	56,475	1,966,377
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,909,901	56,475	1,966,377

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	情報システム	越境EC	計
請負	797,288	—	797,288
プロダクト	71,184	—	71,184
準委任及び保守	1,171,808	—	1,171,808
その他	74,531	83,508	158,039
顧客との契約から生じる収益	2,114,813	83,508	2,198,322
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	2,114,813	83,508	2,198,322